

部落解放研究 第40回兵庫県集会

多様な立場に学び、ともに生きる人権社会の確立を！

日時 2019年**11月16日(土)** 10:00~16:00

参加費 **3,000円**(資料・報告書) 学生・障害者**1,500円**

弁当代 **1,000円**(希望者) ※お弁当は別途事前申込みが必要です。

会場 **神戸市勤労会館** 【所在地】神戸市中央区雲井通5丁目1-2
【電話】078-232-1881

■参加申込

11月8日(金)
締切



記念講演(10:40~12:00)

『わたしにもできる 今を生きる人たちに』

講師:サヘル・ローズさん(タレント・女優)

【プロフィール】

1985年、イラン生まれ。幼少時代を孤児院で過ごし、8歳で養母と来日。様々な苦難を乗り越えながら、高校時代から芸能活動を始める。日本語、ペルシャ語、ダリー語、タジキ語を話し、趣味・特技はテニスや絨毯織りと多彩。また、日本の施設への支援活動など、自らの取り組みが認められ、2018年「第9回若者力大賞(社会をより良くするため活躍する若者に送られる賞)」を受賞。夢はイランに児童養護施設をつくることで、同じ境遇に苦しんでいる子どもたちに支援活動を続けている。現在、女優、タレントとして多くの番組等に出演し、幅広く活躍中。



Photo by 榎本壯三

お申込み 県研実行委員会事務局(ひょうご部落解放・人権研究所)まで

電話(078)252-8280 FAX(078)252-8281 申込期限:2019年11月8日(金)

開催にあたって

共生とは、互いに理解し、尊重し合える対等な関係です。尊重し合うわけですから、相手をよく理解することが前提となります。「自分は勝手に生きるから、あなたも勝手に生きなさい」というのは、共生関係ではありません。さらに言えば、共生は、互いに自己を高めることにつながる批判もし合える関係でもあるといえます。こうした共生関係を自分の周りにどのようにしてつくり、広げていくのか、このことが多様な個々人の生き方を可能とし、人権社会の確立につながっていくのだと考えます。

部落解放研究第40回兵庫県集会のテーマは「多様な立場に学び、ともに生きる人権社会の確立を!」です。記念講演と分科会をとおして、共生関係について、議論を深めたいと考えています。

多くのみなさまのご参加をお待ちしております。

部落解放研究第40回兵庫県集会実行委員会 会長 石元清英

オープニング(10:00~10:25)

神戸朝鮮高級学校吹奏楽部の生徒たちによる演奏、そしてアピール

いつも素晴らしい演奏を聴かせてくださる神戸朝鮮高級学校のみなさん。彼らは自分たちのルーツに誇りを持ち、アイデンティティを育みながらいきいきと学んでいます。しかし、朝鮮学校は高校無償化制度の支給対象から除外され、県の「外国人学校振興費補助」の制度からも補助金の削減対象になり続けています。子どもたちの学ぶ権利を侵害することは、決して許されることはありません。



演奏後、生徒さん自身の言葉で、その実状や思いを伝えていただきます。

パネル
展示

朝鮮学校の歴史と現状をお伝えするパネルを展示します。

7階ロビー

分科会(13:00~16:00)

※各分科会の報告タイトルは、変更されることがあります。

第1分科会 兵庫県内の人権政策の現状と課題—部落差別解消推進法を活かすには

部落差別解消推進法が制定されてまもなく4年目を迎えます。兵庫県内自治体でも条例化や、インターネット上の差別書き込みモニタリングなど、法律の理念を活かし、部落差別を解消するためにさまざまな動きがみえますが、法律の具体化はどこまで進んでいるのでしょうか。自治体へのアンケート調査や、県内隣保館への聞き取り調査を通して、現状と課題を考えます。

- ▶「兵庫県内自治体の同和行政に関するアンケート調査の結果から」
石元清英さん(ひょうご部落解放・人権研究所所長/関西大学名誉教授)
- ▶「人権のまちづくり—地域福祉の現状と隣保館の役割」
山本崇記さん(静岡大学人文社会学部准教授)

第2分科会 労働現場に求められる人権啓発

2018年12月に改正出入国管理法が成立し、外国人労働者の受け入れが本格的に始まりました。今後外国人労働者はさらに増えていくことが見込まれています。さまざまな場面で彼らとともに生きるための施策の充実が喫緊の課題です。

外国人をはじめ、すべての労働者の人権が守られる社会の実現のために、人権啓発の重要性はますます高まっています。ふたつの報告から労働現場に求められる人権啓発とは何かについて考えます。

- ▶「多(他)文化と生きる」(外国人労働者との共生に向けて)
キム・ソングル
金宣吉さん(特定非営利活動法人神戸定住外国人支援センター理事長)
- ▶「企業の人権啓発のとりくみ」
石瀬仁一さん(佐藤工業株式会社/兵庫人権啓発企業連絡会)

第3分科会 学ぶ権利を守るために

神戸市の夜間定時制高校を受験した障害者の男性が、昨年と今年の2年に渡り、定員割れをしていたにもかかわらず不合格となりました。学校側は「総合的に判断した結果」とし、当事者には丁寧な回答もしていません。これは明らかに障害者のあたりまえに学ぶ権利を奪う行為ではないでしょうか。

また、外国人労働者の増加に伴い、学校現場でも外国にルーツをもつ子どもたちが増えていきます。この分科会では、さまざまな背景をもつ子どもたちの学ぶ権利をどのように守っていくのか、ともに考えます。

- ▶「障害者の夜間定時制高校定員内不合格問題を通して」
尻裕之さん(障害者問題を考える兵庫県連絡会議事務局次長)
- ▶「外国にルーツのある子の学力保障・進路保障」
太田詳次郎さん(兵庫県教職員組合)

第4分科会 「性」に関する権利について考える

LGBTという言葉は最近よく聞かれるようになりました。しかし、性的少数者が偏見をもたれず、生きやすい社会にするためには、まだまだ理解が進んだとはいえません。また「夫は仕事、妻は家庭を守る」といった性別役割分担意識は、未だ社会の中に根強く残ります。

この分科会では「性差」についての思い込みや偏見に気づき、誰もが自分らしく生きられる社会とは何かを、ともに考えます。

- ▶「性的少数者が偏見をもたれず、生きやすい社会になるために」
前田良さん(ジー・アイ・ディー-KAZOKUの会代表)
- ▶「ジェンダー平等な社会に向けて
～アンケートから見た男女の意識の差」
パクキム・ウギ
朴金優綺さん(在日本朝鮮人人権協会事務局員、朝鮮大学校講師)

おいしいで〜!! 部落の食文化紹介

昼食時、ロビーでは地域で継承される部落の食文化を紹介します。



油かす飯(肥前市)



肉めし(朝来市)

※写真はイメージです

参加申込み方法

申込み方法

- ①参加のお申込みは、ひょうご部落解放・人権研究所が受け付けます。
- ②別紙「参加申込書」に必要事項をご記入の上、**11月8日**までに、FAXまたは郵送にてお送りください。
- ③申込書の到着、参加費のお振込みが確認できたところから参加券を送付します。
- ④弁当を希望される方は、別紙「参加申込書」に必要事項を記入してお申込ください。
- ⑤手話通訳、要約筆記をご希望の方は**10月25日**までにお申込みください。その他、配慮が必要な方はお申し出ください。
※ご記入いただいた個人情報は本研究集会運営上の目的以外には使用いたしません。
※参加のお申込みは、本集会の趣旨に賛同する人いたします。集会中、趣旨にそぐわない言動があった場合には、主催者の判断で退場していただくことがあります。

参加費・弁当代振込先

【銀行の場合】

三井住友銀行兵庫県庁出張所
普通預金口座番号 3113470
(社) ひょうご部落解放・人権研究所

【郵便局の場合】

口座番号 01110-0-82179
(加入者名) 県研実行委員会

会場

神戸市勤労会館

【所在地】〒651-0096 神戸市中央区雲井通5丁目1-2
【電話】078-232-1881

■会場へのアクセス

市営地下鉄・JR・阪急・阪神・ポートライナー各三宮駅から東へ約400m

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。



問い合わせ

部落解放研究第40回兵庫県集会実行委員会事務局(ひょうご部落解放・人権研究所)

神戸市中央区山本通4丁目22-25 兵庫人権会館2階

電話(078)252-8280/FAX(078)252-8281

メール:blrhyg@extra.ocn.ne.jp

主催

部落解放研究第40回兵庫県集会実行委員会

部落解放同盟兵庫県連合会／部落解放兵庫県民共闘会議／日本労働組合総連合会兵庫県連合会／兵庫人権啓発企業連絡会／同和問題にとりくむ兵庫県宗教教団連絡会議／障害者問題を考える兵庫県連絡会議／兵庫部落出身教職員の会(礎友会)／兵庫県在日外国人教育研究協議会／兵庫県教職員組合／(公財)神戸学生青年センター／(一社)ひょうご部落解放・人権研究所(以上11団体)